

会議録

会議の名称	第3回 枚方市改革・改善サイクル評価員会議
開催日時	平成27年9月10日（木）14時00分から14時35分まで
開催場所	枚方市役所別館4階 第3委員会室
出席者	正木啓子評価員、三木潤一評価員、和田聡子評価員
欠席者	-
案件名	(1) 一次評価及び二次点検・評価対象事業の決定について (2) 二次点検・評価の実施について (3) その他
提出された資料などの名称	資料① 一次評価結果集計表（検討資料） 資料② 二次点検・評価対象事業選定シート 資料③ 今後のスケジュール
決定事項	枚方市改革・改善サイクルにおける二次点検・評価対象事業を決定 二次点検・評価の実施方法を決定
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録などの公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署（事務局）	行政改革部

審 議 内 容

開 会

座 長：ただ今より、第3回枚方市改革・改善サイクル評価員会議を開催いたします。
まず初めに、事務局から配付資料等について、確認をお願いいたします。

事務局：それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。
資料は本日の案件等を記した次第と、**資料①**一次評価結果集計表、**資料②**二次点検・評価対象事業選定シート、**資料③**今後のスケジュールとなっております。
過不足等は、ございませんでしょうか。
事務局からは以上でございます。

案件（1）一次評価及び二次点検・評価対象事業の決定について

座 長：それでは、次第の案件（1）一次評価及び二次点検・評価対象事業の決定についてを議題とします。事務局より資料等の説明をお願いいたします。

事務局：それでは、お手元の**資料①**一次評価結果集計表をご覧ください。
こちらの資料は、前回、7月17日の第2回評価員会議におきまして、平成27年度の一次点検・評価対象事業として、選定いただきました95事業につきまして、事務事業実績測定調査及び事業概要説明シートを資料として、一次評価を行っていただき、評価員の皆さまに、二次点検・評価対象事業とすべき事業について、チェックをつけていただいた集計結果となっております。
資料の見方といたしましては、表の左から「グループ名」、次にそのグループにおける「事業数」、そして「事務事業選定チェック」といたしまして、評価員の皆さまが、二次点検・評価対象事業とすべきとチェックをされた事業数を表示しております。
今回のチェックでは、特に重点的に検証・評価すべき事業につきましては「◎」をチェックしていただいておりますことから、◎と○の2段階でのチェックとなっております。
このことから、この資料では、その事業に対して、何名の評価員が◎もしくは○をつけたかを数字で表しております。
3. 施設維持管理事業グループを例にいたしますと、施設維持管理事業グループの一次点検・評価の対象とした24事業のうち、3名の評価員全員が二次点検・評価対象事業とするべきとチェックをされた事業は、2名の評価員が◎、1名の評価員が○とした事業が2事業ございました。また、2名の評価員が二次点検・評価対象事業とするべきとチェックをされた事業では、1名の評価員が◎、1名の評価員が○とした事業が1事業、2名の評価員が○とした事業が2事業といった形で記載しております。

次に、**資料②**二次点検・評価対象事業選定シートをご覧ください。
こちらの資料は、今回評価いただいた全ての事務事業名称を記載し、二次点検・評価対象事業とすべきとしてチェックをした評価員数を事業ごとに記載した資料となっております。

表の右側にあります「二次点検・評価対象事業」欄は空白としておりますので、この後、二次点検・評価対象事業を選定していただく際に、ご活用いただきたいと考えております。

資料の説明は、以上となります。

座長： それでは、まず二次点検・評価対象事業の選定作業に入ります前に、今回の一次評価を行った際、いろんな感想などがあったと思いますが、課題や内容的にいかがなものかというものや、あるいは改善が進んでいる等、それぞれ評価員の評価の視点や感想などをお聞かせいただきたいと思います。

評価員： 何年か積み重ねてきましたので、評価シートの書き方については、部署によっては、随分とわかりやすい表現だったり、具体的なことを書かれている部署も見受けられるんですが、一方で、書き方がかなり雑駁というか、誤解を招いてしまうような部署もありました。疑問点としてお出しして回答をいただくと、しっかり書かれていたりして、最初からそういう形で書いていただく方が、市民の方が閲覧されたときに、わかりやすいと思いますし、所管課の方のご努力も伝わらないと意味がないので。所管課の方によってはその辺の意識が薄い課がいくつかあったなという印象です。

また、これもおもしろいことに我々3名の評価員がずっとやってきている中で、同じような事業を集合無意識的に3名が選び、内容を確認すると、まだまだ改善しないといけない、進捗として少し遅れているのかなというところ、また、意識改革については、所管課の方が異動されるとまた元の位置に戻っているようなところがあって、その2点が少し残念だなという感想を持ちました。

座長： ありがとうございます。先生はいかがでしょう。

評価員： 今回は今までのものと違って、グループ分けでということだったんですが、前回は申し上げたと思いますが、グループに分けた効果がなかなか活かせないというか、結局は、個別事業を選ぶ感じになってしまい、可能な限りグループを活かすようにと意識しましたが、以前と本質的に変わっていないということが課題だと少し感じました。

また、先ほども先生がおっしゃいましたが、結局、同じような事業が残り、また、もう一度同じことをするのかというところが、これをどう公開ヒアリングの場等で言うのかというのが、どうしたものかという感じです。まさに、職員の方の配置換えがあると、継続しないというか、もう一度洗い替えられて、また最初に戻るといえるのか、これまでやってきた評価とかの引継ぎ等がどうなっているのかなと思うところがありまして、これもまた課題だなというふうに思いました。

座長： 私も、まったく同じで、評価員が個々に評価しているにもかかわらず、その感想が一緒というのはいかがなものかと思いつつですが、1つは引継ぎがうまくいっているのか、ちょっと疑問に思うような書類が出てきたり、形状記憶のように元に戻っているというのか、そういうものがいくつか見受けられました。

評価員： 事務局に質問ですが、先ほど先生もおっしゃっていました類似事業の事ですが、せっかく

今回整理したけれど効果が出ていないというところで、私も個別で選んだという意識がありまして、お聞きしたいのは、所管課の方が類似事業として聞いたときに拒否反応などはなかったですか。その意味は、今回類似事業を選んで点検・評価した背景としては、事業がたくさんありすぎると、一つ一つに時間がかかり、それよりも類似事業を統廃合して、メリハリをつけるということをしたのですが、今いろんな自治体で類似事業を洗いだすということをなされている一方で、所管課は一つ一つの事業をやっていることに意味があり、あまり統廃合されると自分の課が努力していないから削減されているというような変な誤解があるのではないですか。自分のところの事業が減らされることがあまりやっていないというふうに逆に思われるようで。民間ではコスト削減の意味で減らしていくスリム化が評価されますが、行政はお仕事をたくさんしていることに、いわゆる成果目標の誤解の理念で、たくさんあればあるほど、我々はやっていると外に見えて、減っていくとやっていないからリストラされているんだというようなニュアンスがあって、類似事業で統廃合されることの拒否反応が自治体によってはあるようで。類似という言葉よりも関連事業という言葉を使うほうが抵抗が少ないように見受けられます。所管課の方もあの事業とあの事業は関連しているんだなというふうに、心理的な問題ですが、類似という言葉がかえって、事業評価に支障をきたしていないかなど。所管課の方はどうだったかなど。

事務局：例えば、類似施設というふうに思われているが、違うということはおっしゃいます。目的が違うので、外から見たら似ているかもしれないけれども、中身が違うから別のものだと言う所管課の方もいらっしゃいます。類推ですが、今おっしゃっているのは、そういう感じのことを思っているのではないかと。

評価員：類似よりも関連の方が大きい枠で捉えられるから。結果的に判断されるときは、類似だからというのは決定打なんだけど、関連というほうが広い意味で所管課の方にはその方が抵抗が少なくいいのではないのでしょうか。今、施設の話もありましたが、施設はまさにそうだと思います。

事務局：縦割り行政というか、自分達の事業を部局をまたいで統合するのは、抵抗が見えることもあります。それを関連という枠で捉える方がいいところはあるかもしれません。

評価員：言葉のあやだけど、心理的に一緒にされる意味より、関連という網の目の中で。最終的な手法は一緒ですが、最初から拒否反応されるとそこから進まないの。そういう動きもいろんなところで出てきているようなので、枚方市も類似より関連の方がよいかと。今後使われるときの検討をされてはと思いました。

座長：ものによるかもわからないですね。今回のグループ分けにした目的をかなりの方が勘違いされていると見受けられます。例えば、先生がおっしゃった関連事業等で典型的なもの、いわゆる貸し会場のような箱物はその形で整理しないと出来ないと思います。それと維持管理事業で私が気になったのは、一箇所ではすごく少ない特殊なボイラー点検や電機の点検等、少ない業務だと割高になるようなものを類似事業で一括でやっしまえば安くなるのではないかとということも考えていたんですが、その場合はやはり類似という

形のものがいだらうし、言葉の使い方はものによって、維持管理は維持管理でそこだけグループで分けられるのか。事業をつぶすとかではなく、我々がやっているのは、いかにうまく進めるか、同じことをやっても安くなるか、また合理的に動けるかということをやっているにもかかわらず、少し違う方向に勘違いされているように思いますね。

評価員：まさにそうですね。言葉の整理というのは事業によって、関連と類似があるかもしれませんね。

座長：貸し館は確かに大問題ですね。先生もおっしゃったように関連という形で、一度整理してそれだけを特に取り上げてやらないといけないかもしれませんね。

評価員：貸し館施設だけに焦点をあわせた検討はあるんですか。マネジメントの話とか。

事務局：ちょっと違うかもしれませんが、公共施設の総合管理計画を来年度策定する予定です。その中で貸し館だけでなく、公共施設すべてをマネジメントするというのは、庁内で動きつつあります。また、行政改革部では使用料についての共通の基準を定める予定で、現在検討中ですが、その中で貸し館も含めた施設の所管課との調整も必要になってきますので、その会議体については検討を行っています。

評価員：他市では統廃合等もやってますよね。

事務局：来年度の総合管理計画の中でその辺りもやろうと思っています。計画は来年度に策定しますが、その先のマネジメントについては時間をかけてやっていこうという動きがあります。

座長：箱物の名称が青少年施設の青少年センターや高齢者施設の楽寿荘とか、特殊な目的でやっていると言っているながら、実態は違ってきているので、そこら辺は関連という形で一度整理しないと、これから維持管理費がすごいことになるので、しまえるものはしまうとか、それと一方で、いわゆる維持管理費的なものや啓発事業とか形のないものは、それはそれで、類似事業として、自分のところはこの啓発だけというのではなく、枚方市としてこれを宣伝するとなるとみんなで手を結んで、多少違う部署でも啓発するとか、形のないものについては、類似事業かなという気がしますね。先ほど先生におっしゃっていただいてすっきりしてきましたが、何か気持ちわるくてやっていたんです。物があまるものと物が少ないものとはちょっと違いますね。

座長：いろいろ思いもありますが、各評価員の皆さまの評価結果を元に、二次点検・評価対象事業の選定を行っていきたいと思います。選定の仕方をどうしましょうか。資料②の方が事業名やチェックの数がわかりやすいので、資料②で選定しましょうか。

<異議の声なし>

座長：それでは、資料②でいきますと○が一人だけ等、ばらけている感じもありますが、前回と同じ選定方法でいきますと、評価員3名が◎をつけた事業でいきますと、No41～44の学校給食事業が4事業あります。これは同じ事業で手法の違いだけですので、1事業とし

て点検・評価するというのでいいですね。

<異議の声なし>

座長：次に◎が2名で○が1名として評価員3名がチェックをした事業でいきますと、No3の生涯学習市民センター維持管理事業とNo20の景観水路維持管理事業、それからNo25のサプリ村野NP0センター施設維持管理事業、あとNo27の生涯学習市民センター学習支援事業の4事業となりますが、これも二次点検・評価対象事業とすることでよろしいですね。

評価員：生涯学習市民センターは維持管理事業と学習支援事業と2事業ありますが。

座長：生涯学習市民センターについても、1事業とすることでいいですね。

<異議の声なし>

座長：次に、◎が1名で○が2名として評価員3名がチェックをした事業でいきますと、No66の農業団体育成事業、No72の業務改善・職員提案推進事務ですね。

それから、あとは○が3名のものがNo45の野外活動センター維持管理事業とNo64の地域商工業振興対策事業、ここまでで8事業ですね。

次に、◎が2名のものが、No48のウィルフェスタ開催事業と、No73の男女共同参画啓発事業ですね。これらも二次点検・評価対象事業として、内容的に1事業とすることでいいでしょうか。

<異議の声なし>

座長：よろしければ、確認しますと、二次点検・評価対象事業として取り上げますが、No3とNo27を一緒にした生涯学習市民センター関係の事業、次がNo20の景観水路維持管理事業、それからNo25のサプリ村野NP0センター施設維持管理事業、No41からNo44が一括で学校給食関係の事業、No45の野外活動センター維持管理事業、No48のウィルフェスタ開催事業とNo73の男女共同参画啓発事業と一括で行うもの。それから、No64が地域商工業振興対策事業、No66の農業団体育成事業、No72の業務改善・職員提案推進事務ということで、全部で9事業ということになります。一括で取り扱うとする分についても、先生方これでよろしいですか。

<異議の声なし>

座長：◎や○と言いましても、その線をどこで分けるかというのは微妙なところはありますが。考え方としては、それでよろしいでしょうか。一括ですということを入れたら9事業ということになります。一度、事務局の方から確認をお願いできますでしょうか。

事務局：それでは、資料②に基づきまして、確認をさせていただきます。

まず、1枚目の3.施設維持管理グループです。No3の生涯学習課、生涯学習市民センター維持管理事業、こちらが、No27の事業と一括で行われるということです。次に、同じページのNo20、下水道施設維持課の景観水路維持管理事業。次のページにまいりまして、

4. 施設等運営事業グループです。No25、市民活動課のサプリ村野NPOセンター施設維持管理事業、次のNo27は、先ほどのNo3の事業と一括ということでございます。下にまいりましてNo41からNo44、学校給食課の学校給食関連事業を一括ということでございます。次に、No45のスポーツ振興課の野外活動センター維持管理事業でございます。次のページにまいりまして、18. 啓発事業グループ、No48の人権政策室のウィルフェスタ開催事業、こちらはNo73の事業と一括となります。次に、21. 育成事業グループです。こちらはNo64、産業振興課の地域商工業振興対策事業、No66、農政課の農業団体育成事業です。次のページにまいりまして、所管課選定分といたしまして、No72、行政改革部の業務改善・職員提案推進事務、No73が人権政策室で男女共同参画啓発事業、こちらは先ほどのNo43と一括ということでございます。以上、14事業で、まとめたものにしますと9事業ということでございます。

座長：それではこれで、まとめて9事業、全部で14事業ということで、二次点検・評価対象事業については、以上のとおりといたします。

案件（2）二次点検・評価の実施について

座長：それでは、案件（2）二次点検・評価の実施についてを議題としたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

事務局：それでは、二次点検・評価の実施について、ご説明いたします。

資料③今後のスケジュールをご覧ください。

本日選定いただきました二次点検・評価対象事業につきましては、本市におきまして、10月上旬頃までに、一次評価結果を踏まえまして、二次点検を実施する予定でございます。その上で、10月下旬頃までに、評価員会議の場におきまして、二次評価といたしまして、直接担当課とのヒアリングを実施していただき、それぞれの事業について、今後の方向性などの評価を行っていただく予定としております。

また、ヒアリング実施以降に、各所管課に一次・二次評価の対応案の作成を依頼します。その後、11月中旬の市議会総務委員協議会において、改革・改善サイクルの取り組み内容を報告するとともに、ホームページに点検・評価結果及び対応案を公表し、市民の皆さんの意見を伺ってまいりたいと考えております。以上でございます。

座長：ただいま、事務局から説明がございましたけれども、今のご説明の中で確認したい事項等がございましたら、ご質問いただければと思います。いかがでございますか。

<意見等なし>

座長：今までどおりということで、よろしいですね。

案件（3）その他

座 長：それでは、次の案件（3）その他について、事務局から何か連絡事項などはございますでしょうか。

事務局：次回の会議は、二次評価といたしまして、**資料③**今後のスケジュールにもございまして、10月上旬～下旬に担当課との公開ヒアリングという形で開催させていただきたいと考えております。

日程につきましては、事務局で評価員の皆さまと調整させていただきまして、決まり次第、ご連絡させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

閉 会

座 長：それでは、以上をもちまして第3回評価員会議を終了したいと思います。どうもありがとうございました。